

科目	時事英語 (English in Current Topics)		
担当教員	上垣 宗明		
対象学年等	機械システム工学専攻・1年・後期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	B3(100%)	JABEE基準1(1) (f)
授業の概要と方針	英字新聞を中心に、雑誌、www等を利用して、一般的な題材から科学技術等の専門的な話題に触れ、時事問題に対する関心を高める。海外だけでなく国内のニュースについても題材として扱う。最近の科学についての記事を読み、自分の研究と社会とのつながりについて考え、英語によるプレゼンテーションを行う。視聴覚機器を用い海外のニュース番組などの聞き取り訓練も行う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B3】時事英語を読解するのに必要な幅広い知識や技能を身につける。		時事英語読解に必要な知識や技能が向上しているかを期末試験で評価する。
2	【B3】必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方を身につける。		英語の新聞記事から、必要な情報を正確に入手する読み方をマスターしているかを期末試験で評価する。
3	【B3】オーセンティックな英語に触れ、必要な情報を正確に聞き取ることができる。		英語の聞き取り能力が向上しているかを、海外のニュース番組やTOEICのListeningテストなどを用い、確認テストを行う。
4	【B3】記事に対しての自分の意見が正確に表現でき、他者と話し合いができる。		自分の意見を正確に表現でき、その内容について他者と話し合いができるかを演習で評価する。
5	【B3】自分の研究、または、最近の科学技術と社会とのつながりを題材としたプレゼンテーションができる。		プレゼンテーションの能力をプレゼンテーションの発表会で評価する。
6	【B3】効果的なプレゼンテーションを行うための基本的な事柄を理解し、プレゼンテーションをするときに実践できる。		プレゼンテーションの発表会の時に、画像や発表原稿などで、総合的に評価する。
7	【B3】論理的な文章の書き方を理解し、自分の原稿作成時に利用できる。		プレゼンテーションのための原稿チェック時に評価する。
8	【B3】分野の異なるプレゼンテーションを聞いて、内容を理解した上で評価できる。		分野の異なるプレゼンテーションが理解でき、適切な評価ができていないかを発表会のときに評価する。
9			
10			
総合評価	到達目標1, 2の期末試験50%, 到達目標3の確認テスト20%, 到達目標4の演習10%, 到達目標5~8のプレゼンテーション20%で評価する。ただし、出席状況の悪いものは不合格とする。加点制度あり。		
テキスト	プリント		
参考書	「プレゼンテーションは話す力で決まる」：福田健（ダイヤモンド社） 「理工系大学生のための英語ハンドブック」：東京工業大学外国語教育センター編（三省堂） 「ツールとしての英文法」：黒川裕一（ベレ出版） 「バーナード先生のネイティブ発想・英熟語」：クリストファ・バーナード（河出書房新社）		
関連科目			
履修上の注意事項	本科目は、5年次英語演習、及び専攻科1年次前期の英語講読に関連する。英検で取得した級、または、TOEICの成績に応じて加点する。		

